

会 議 録

会 議 の 名 称	平成24年度 子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第2回）
開 催 日 時	平成24年11月6日（火） 午前10時から午前11時30分まで
開 催 場 所	市役所第二庁舎5階 会議室3
出 席 者	金子 廣志 高野 章 荻野 記代子 荒井 マサ子 齋藤 規容子 松崎 許子 安立 美智子 田家 正好 清水 裕子 入山 尚浩 阿保 資江美 下田 浩 柳原 聡（代理） 森田 和憲 栗山 健司 清水 幹明 井上 裕 池田 秋義 計18名
事 務 局 職 員	生涯学習課 富樫主査、中森主事、藤田主事
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について (2) 平成25年度新規開設校について (3) その他 4 閉会

会 議 資 料	・ 次第 ・ 参考資料 ① 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 学年別登録者数 ② 東野ココフレンド 参加人数 ③ 石神ココフレンド 月別参加人数 ④ 平成２４年度新座市子どもの放課後居場所づくり事業 アンケート集計結果 ⑤ 平成２５年度新規開設校検討資料 ⑥ 平成２４年度学校要覧（東北小学校） ⑦ 平成２４年度学校要覧（新堀小学校） ⑧ 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会今後のスケジュール
そ の 他 の 必 要 事 項	特になし

審 議 の 内 容 （審議経過、結論等）

1 開会（富樫主査）

2 挨拶（金子教育長）

3 議事

(1) 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について

【資料 1 頁～ 3 頁】

ア 学年別登録者数について【資料 1 頁】

東北小、石神小共に在籍児童の約 4 割がココフレンドに登録している。
低学年の登録が多い傾向にある。高学年になると自分たちで遊べたり、
塾などの習い事があるなどの理由で少ないようである。

イ ココフレンドの参加状況について【資料 2・3 頁】

ココフレンド開設当初は、参加児童が 100 名を超える日もあったが、
現在は安定し、日に 20 名～40 名の参加となっている。夏休み期間中、
特にお盆の時期は参加が少なかった。懇談会や学校行事のある日は参加が
多かった。

また、10 月から下校時刻が午後 4 時 30 分となり、ココフレンドに参
加しても活動時間が短いことから、参加者数が減っている状況である。

ウ 子どもの放課後居場所づくり事業アンケートの集計結果について

【資料 4～15 頁】

10 月 18 日（木）から 26 日（金）までの期間で、東野小及び石神小
ココフレンド登録児童の保護者を対象にアンケート調査を実施した。配布
数 529 枚、回答数 439 枚、回答率 83.0％であった。

(1)から(5)までの設問で回答が多かったものは以下のとおり。

設問(1)ココフレンドに参加させている理由を教えてください

→②学校施設内で安全だから

設問(2)ココフレンドには、これまで何回くらい参加していますか

→③月に 1 回程度

設問(3)どんなときにココフレンドに参加していますか

→①お子さんか、行きたいと言うとき

設問(4)ココフレンドに参加するようになって、良かったと思うことは何
ですか

→②友だちと遊ぶ機会が増えた

設問(5)子どもたちには、ココフレンドでどのように過ごしてほしいです
か

→②思い切り体を動かして遊んでほしい

設問(6)の意見、感想は、肯定的な意見が多かった。

コーディネーターから見たココフレンド事業の運営状況について

コーディネーター 参加児童数が当初 100 人超に対し、スタッフ 4 人とコーディネーター

1人であたふたしたが、現在は落ち着き40人前後の参加となった（9月平均45人、10月平均33人）。毎日10人位が入れ替わりで参加しているが、参加児童の固定化が見られる。

ココフレンド開設当初は子どもたちの怪我が多かったが、現在はほとんどなくなった。子どもたちがココフレンドに慣れたためと思われる。

夏休み期間中にPTAの方がココフレンドの活動に協力してくれた。

コーディネーター 体育館が使えないことが多かったことや高学年の参加率低下が課題ではあるが、子どもたちは学年を超えて遊べるようになり、トラブルが発生しても上級生が間に入って解決したり、宿題を教え合っている様子がみられるようになった。

小学校長から見たココフレンド事業の運営状況について

校長 ココフレンド開設当初は参加児童も多く、隣接する教室に迷惑が掛かることもあったが、現在は子どもたちもココフレンドに慣れ、習慣が身に付いたようである。情報交換もうまくできるようになり、良い方向に向かっている。

お盆の時期はココフレンドに参加するよりも家庭にいた方が良いのではないかと思う。

校長 一番大切なことは、学校とココフレンドスタッフが綿密に連絡・交流しておくことだと感じた。

学校としては、子どもたちがココフレンドで宿題をやってくれるので助かっている。宿題をしてから遊ぶという流れが習慣化していて良い。

なかよしホールにロッカーを設置してもらえたお陰で、児童のランドセルなどの荷物を収納することができ、忘れ物も減ってありがたいと思っている。

ココフレンド開設前は、懇談会の日などに子どもたちが走り回ったりして騒がしかったが、ココフレンドが開設されてからは改善された。

現在の課題は、体育館解放団体との調整であると考えている。

委員 幼稚園等の預かり保育と勘違いしている保護者が多い。ココフレンドはお迎えが原則であるが、実際は集団下校がほとんどで、お迎えが少ない。事業のルール、目的をもっと浸透させてほしい。

委員 集団下校はありがたいという保護者が多い。

委員長 下校時間を早めているのは集団下校も想定してか。

事務局 防災行政無線の放送時刻に合わせている。冬季は暗くなるのが早く、約8割の児童は集団下校をしているため、10月から1月までは下校時刻を午後4時30分としている。

委員長 学校の最終下校は何時か。

校長 最終下校は午後3時45分である。

校長 高学年の最終下校は午後4時で、低学年はもっと早い。

学童保育 始めに宿題をやらされるので嫌だとココフレンドに行かなくなった学童保育の子がいた。

ココフレンド参加児童と学童保育の児童が一緒に遊んでいるが、特にトラブルはない。

委員長 アンケート結果を事務局はどのように捉えているのか。

事務局 ココフレンドを毎日利用するというよりは、保護者の都合がつかない時

に利用していることが多いようである。

委員長 フルタイムで仕事をしている方は保育室を利用し、それ以外の方はココフレンドを利用しているようである。アンケート結果のグラフから学童保育と学童保育の住み分けができていないかと思う。

委員 ココフレンドに参加している児童からは楽しいと、その保護者からは自分がパートに出ているので助かるという話を聞いた。

アンケートに月 1 回イベントを実施していほしいとあるが、どのように考えているのか。

コーディネーター 新座市では「新座っ子ばわーあっぷくらぶ」を実施しているため、ココフレンドは見守り活動メインで行っていきたい。イベントは、時々葉実施する必要があると思うが、やり過ぎるとイベントがないと児童が参加しなくなる。

委員 夏休み期間中、スタッフとして参加した。ココフレンド登録児童であることを表す緑色のリストバンドが、夏は蒸れるのか子どもたちがかゆがっていた。新しい目印を考えてもらえると良い。

子どもの居場所確保の難しさと情報交換の大切さがわかった。スタッフは高齢者が多いため、夏休みなどの長期休暇中は中学生・高校生・大学生や地域ボランティアが参加する機会を持ってもらえると良い。

事務局 今後の課題とさせていただく。

コーディネーター 夏休み期間中、十文字学園女子大学の学生が毎日 2 ～ 3 人手伝いに来てくれた。学生の参加により参加児童数も増え、喜んで活動している様子が見られた。

委員長 ピアサポーターなどの学生ボランティアにココフレンドを手伝ってもらうことは可能である。東野小などは、近くに学生寮があるので、学校側からアプローチしていけば、ネットワークができるのではないかと思う。

アンケート結果を見ると概ね肯定的なようである。また、児童の 2 割はよく参加しているようである。夏休み期間中、特にお盆の時期は参加が少なかったようである。運営していてどのように思うか。

コーディネーター 1 年間通して実施してみなければ傾向などがわからないため、お盆の時期も実施してよかったと思う。参加した児童は喜んでいた。

委員 毎日活動しているコーディネーターは大変なので、お盆の時期は休ませてあげたいと思った。

(2) 平成25年度新規開設校について【資料 16 ～ 18 頁】

新規開設の条件として、①スタッフルームとして 1 教室又は 1 部を常時借用できること、②子どもたちの活動場所として解放できる教室等があること、③本事業を長期休業中に実施するに当たり、校庭や体育館等が半日程度使用できることを勘案し、この条件に全て合致する東北小及び新堀小を平成 25 年度の新規開設候補校としたい。

委員 新堀小は来年大規模改修があるのではないか。

事務局 新堀小は夏休み期間中に大規模改修を実施する予定であるため、夏休み期間中のココフレンドは実施しない。

委員長 新堀小は来年大規模改修を控えているが、それでも候補校として挙げた理由を教えてほしい。

事務局 新堀小は先程事務局が申し上げた条件に見合っており、大規模改修前に

決定していればスタッフルームの確保等がしやすいと考えたため、新堀小を候補校とした。

委員長 来年度の開設時期はいつ頃か。

事務局 既存の２校については４月から、新規開設校については５月末から６月初旬頃の開設を予定している。

新規開設をスムーズに行うには、スタッフの人員確保が急務となるため、皆様の御協力をいただきたい。

(3) その他【資料１９頁】

ココフレンド新規校開設までの今後のスケジュールについて説明
次回会議（第３回）は来年３月に開催予定

４ 閉会（高野副委員長）